学校番号	1101

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校生の音楽Ⅱ　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・音楽Ⅰで学んだ基礎をふまえつつ、一人一人の感性や音楽的技術を向上させるとともに、自由で創造的な表現に取り組みます。
　また、重唱、重奏、合唱、合奏に取り組み、他と協力して創り上げていく喜びを味わいます。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートの提出や実技テストで評価します。
・音楽の学習は、仲間とともに実際にやって演奏し、試していくことで価値がうまれ、感性豊かになります。
・音楽が、日々の学校活動や、生涯に渡って心の支えや励ましとなり、生きる力になることを願います。

２　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現の能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文和についての理解を深める。

【知識及び技能】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深め、音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
【思考力、判断力、表現力等】
音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもって、音楽のよさや美しさを味わって聴いたりしている
【学びに向かう力、人間性等】
音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深める ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技術を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連知覚し、それらの働きを感受しながら、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図ともっている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	イメージを持って豊かな声で歌い上げ	【歌唱】 からたちの花	a:曲想と音楽の構造や歌詞との関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 b:どのように表現して歌うかについて独自の表現意図をもっている。 C: 主体的に課題に取り組むことができる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	リコーダーアンサンブルに挑戦！	【器楽】 ピタゴラ･スイッチ	a: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、曲の内容と関わらせてどのように演奏するか、表現意図をもっている。 b: どのように表現して演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c: アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。楽譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	本格的な箏曲に挑戦しよう	【器楽】 本格的な箏曲に取り組み、日本の伝統楽器の種類や音質、演奏の仕方や扱い方などを学習する。 日本の伝統音楽を鑑賞して、日本音楽の良さ、美しさを感じる。	a: :箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身につけ、創造的に表現している。また、箏の読譜を正しく理解し、楽譜に表わすことができる。 b: どのように表現して演奏するかについて独自の表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート

後期	日本語の美しい語感を生かして	【歌唱】 上を向いて歩こう	a: 曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、日本語の発音、呼吸法、読譜などの技能を身に付けている。 b:他者とどのよう歌うかについて独自の表現意図をもっている。 c: 主体的に課題に取り組むことができる。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート
	クラシック音楽に親しもう	【鑑賞】 バロック期 古典期 ロマン派 近現代 それぞれの時代を代表する曲を鑑賞する。	a:クラシック音楽の文化に興味をもち、時代の文化や背景、他芸術との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。	演奏の聴取	演奏の聴取	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度